

モニタリング結果報告書

施設 厚木精華園
指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会
施設所管課 障害サービス課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

ほぼ、目標利用者数に近い利用者数を確保し、前年比でも微増している。重大な事故や不祥事の発生などもなく、利用者支援の質とともに職員の人材育成についても取り組めており、良好な管理運営状況である。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日		○	×	×	なし	
11月	12月9日		○	×	×	なし	
12月	1月6日		○	×	×	なし	
1月	2月10日		○	×	×	なし	
2月	3月7日		○	×	×	なし	
3月	4月9日		○	×	×	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

- 中高齢知的障害者に対する医療的ケアの充実
- 地域生活への移行の推進

<実施状況>

- 1 現在、利用者平均年齢67歳という現状を踏まえ、様々な機能低下に対応した支援方法を行うために、人生の最終プランに即した個別支援計画の作成、バリアフリー環境推進に取り組んで来ました。また、平成24年度より開始される国の「介護職員等による喀痰吸引等の制度」を鑑みて、国研修の参加により指導看護師資格を看護課長が取得、また県主催研修に看護師4名を派遣し、医療的ケア（特定利用者）に関しての指導看護師の資格取得を取得しました。またそれに応じて園内にて約50名の支援員を対象に、看護師を中心に医療的ケアの認定証明書を取得するために研修（一人9時間）を実施した。
- 2 新規ケアホーム（第12ケアホーム）の開設に向けて申請手続きを行うとともに、改めてケアホームの対象となる利用者のアセスメント等を行い検討しました。高齢化による身体機能の低下が著しく、対象となりうる利用者が限定されてしまいました。（延人数1名）反面、在宅の方々（延人数：57名）、他施設入所中の方（延人数：6名）の体験利用が多く見られました。

4 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	727,447 (705,160)	249,509 (251,620)	456,003 (432,061)	21,935 (21,479)	722,870 (684,313)	4,577 (20,847)
下半期 予算額	364,223	124,754	228,260	11,208	365,581	△1,358
10月	60,540	18,402	39,410	2,727	52,054	8,485
11月	59,663	18,402	38,046	3,214	49,049	10,613
12月	74,926	33,395	39,402	2,129	97,306	△22,379
1月	57,727	18,402	37,377	1,947	54,641	3,085
2月	58,865	18,402	39,789	673	51,675	7,189
3月	73,078	18,390	43,311	11,376	88,293	△15,214
今年度 半期計	384,801	125,393	237,338	22,070	393,020	△8,219
前年度 同期計	366,604	126,448	219,644	20,512	376,956	△10,352

- 1 指定管理者の収入を記載してください(県の収入である「使用料」は含みません。)
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

- ① 年間予算額における収支差額が4,577千円となっているのは、公用車の入れ替えを下半期に実施すべく予備費計上をし、予定通り執行しました。
- ②③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

管理施設の修繕において、計画修繕工事・各所営繕工事等に係る費用については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0	
下半期	6,199,315	冷却塔分解整備工事、空気調和機分解整備工事等
総額	6,199,315	冷却塔分解整備工事、空気調和機分解整備工事等

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	車両購入	692
積立等の状況	修繕積立金	(期首) 6,000
		(期末) 6,000

民間助成金（2,080千円を活用）を活用し、重症心身障害者の通所施設利用普及のため、送迎車両を購入。

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	99人	99人	0%
11月	99人	98人	1%
12月	100人	100人	0%
1月	99人	99人	0%
2月	100人	98人	2%
3月	96人	98人	△2%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	600人	597人	589人	△0.5%	1.4%
今年度下半期計	600人	593人	592人	△1.3%	0.2%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください。）。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

- ① 該当なし
- ② 目標利用者数に対しマイナス7名となったが、地域移行推進並びに時期を同じくして亡くなられた方々による数値である。

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	1 ()	3 ()	()	()	()	4 ()

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載してください。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
	・	
	・	
職員対応	・特になし	
	・	
	・	
事業内容	・特になし	
	・	
	・	
その他	・特になし	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。

該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果（指定管理者の課題の有無等を含む）
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今期は掲げていた目標が概ね達成でき、安定した事業を実施することができた。高齢化に伴い、病状の変化が見られ利用者個々の状態から他の社会資源（療養型病院）への移行やケアホーム利用者の入所施設への移行が少しずつ見られている。今後も、家族（後見人を含む）、行政機関、他の関係機関等との連携を図り、対応を行っていきたい。 ・ 「介護職員等による喀痰吸引等の制度」における指導看護師資格取得に積極的に取り組んだ。今後、指定管理施設として資格を有効活用するとともに、近隣福祉施設との連携について関係部署と協議を重ね指定管理施設としての役割を充実させたい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の高齢化や身体機能低下に伴い、発生するニーズに対しての取り組みを積極的に行っており、高齢知的障害者に対する先進的な事業展開を実施できている。 ・ 高齢の利用者が多いため体調急変のリスクが高く、また障害特性から自ら体調の変化を訴えることが出来ない利用者が多い。そういった中でリスク管理の充実に努め、地域の社会資源と協力連携体制を築く努力を行っており、評価できる。